

【専門教育関連科目/健康と健康障害の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅱ		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
保坂 稔 他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論Ⅱでは脳および神経・感覚器・運動器・内分泌代謝疾患の症状・診断に必要な検査および治療、予後について学ぶ。疾病治療論Ⅰで学んだ疾病治療論総論および病理学・感染免疫学・栄養学・薬理学で学んだ知識などを活用し、疾病や治療が人体に及ぼす影響を理解する。それぞれの疾患群において臨床で経験する頻度の高い疾患を中心に、現在行われている診断・治療について理解する				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ティベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖・生理学ならびに病理学の知識を礎に疾病を理解していきます。1年時の講義を復習することが大切です。これにより本講義の理解がより進むと考えます。また病態生理などを推考することが可能になると考えます。				
教科書	・専門分野Ⅱ成人看護6 内分泌・代謝(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護7 脳・神経(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護10 運動器(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護12 皮膚(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護13 眼(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護14 耳鼻咽喉(系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ成人看護15 歯・口腔(系統看護学講座) 医学書院				
参考書	ハリソン内科学/メディカル・サイエンス・インターナショナル				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	新たな事象に遭遇したときに自己学習して問題解決する能力を身につける		HSU(1)～(3)		
②	重要な疾患について基本的な特徴を説明できる		HSU(5)		
③					
④					
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	疾病治療論Ⅱ～Ⅳ総論 看護学科において疾病治療論を学ぶ意義	講義	疾病治療論を学ぶ意義について学習する。次回の講義範囲を予習する。	1	
2	脳・神経疾患(1)脳・神経の機能と主要疾患の概略	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
3	脳・神経疾患(2) くも膜下出血、脳出血、脳梗塞など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
4	脳・神経疾患(3) 脳腫瘍、脊髄疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
5	脳・神経疾患(4) パーキンソン病、ALS、多発性硬化症など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
6	内分泌代謝疾患(1)内分泌・代謝器官の機能と主要疾患の概略	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
7	内分泌代謝疾患(2)糖尿病、脂質異常症など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
8	内分泌代謝疾患(3)視床下部・下垂体疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
9	内分泌代謝疾患(4)甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
10	運動器系疾患(1) 主要疾患の概略について学習する	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
11	運動器系疾患(2) 変形性関節症、関節リュウマチなど	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
12	運動器系疾患(3) 脊椎疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
13	運動器系疾患(4) 骨折など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	

【専門教育関連科目/健康と健康障害の理解】

14	感覚器疾患 皮膚・眼・耳鼻咽喉科疾患について学習する	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1				
15	歯・口腔疾患 歯および歯周疾患、口腔疾患について学習する	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1				
試	達成度評価(評価のポイントを参照)							
達成度評価								
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント					フィードバックの方法			
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点						
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する			試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じてフィードバックの時間を確保する。		
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他担当教員	樫本温、山本泰宏、吉岡陸世							
教員の実務経験	医師として臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。授業は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。ときには実臨床からの疾患を例示しての授業を構成する。							
その他	新型コロナウイルス感染症のまん延状況など社会情勢によって、シラバスは変更される可能性がある。							